

デーヴォ ガイド



2022.4.4-10

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

4:1 ユダとベニヤミンの敵たちは、捕囚から帰って来た人々が、イスラエルの神、主のために神殿を建てていると聞いて、
4:2 ゼルバベルと一族のかしらたちのところに近づいて来て、言った。「私たちも、あなたがたといっしょに建てたい。私たちは、あなたがたと同様、あなたがたの神を求めているのです。アッシリヤの王エサル・ハドンが、私たちをここに連れて来た時以来、私たちは、あなたがたの神に、いけにえをささげてきました。」
4:3 しかし、ゼルバベルとヨシュアとその他のイスラエルの一族のかしらたちは、彼らに言った。「私たちの神のために宮を建てることについて、あなたがたと私たちとは何の関係もない。ペルシヤの王、クロス王が私たちに命じたとおり、私たちだけが、イスラエルの神、主のために宮を建てるつもりだ。」
4:4 さらに、その地の民は、建てさせまいとして、ユダの民の気力を失わせ、彼らをおどした。
4:5 さらに、議官を買収して彼らに反対させ、この計画を打ちこわそうとした。このことはペルシヤの王クロス王の時代からペルシヤの王大リオスの治世の時まで続いた。
4:6 アハシュエロスの治世、すなわちその治世の初めに、彼らはユダとエルサレムの住民を非難する一通の告訴状を書いた。
4:7 また、アルタシャスタの時代に、ビシュラム、ミテレダテ、タベエルとその他の同僚は、ペルシヤの王アルタシャスタに書き送った。その手紙はアラム語の文字で書かれ、アラム語で述べられていた。

4:8 参事官レフム、書記官シムシャイはエルサレムを非難して、次のような手紙をアルタシャスタ王に書き送った。

4:9 すなわち、参事官レフム、書記官シムシャイ、その他の同僚、裁判官、使節、役人、官吏、エレク人、バビロン人、シュシャンの人々、すなわち、エラム人、

4:10 その他、名声高い大王オスナパルがサマリヤの町と川向こうのその他の地に引いて行って住ませた民たちが、書き送った。さて、

敵とはサマリヤ人で、イスラエル人と異邦人の混血によってできた民族です。彼らは信仰的にも全能の神様には従わず、異教的な混同宗教を行っていました。

神殿再建に当たって、協力を申し出てくれたのですから、考え方によってはありがたいことであるし、その好意を無にすることは良識がないととられるかもしれません。現代でも同じようなことが起こりえます。

しかし神殿は単なる建築物ではなく、神への忠実な信仰の表れであり、それを実践するところです。さらには神様に従う者たちへのあわれみによって神ご自身が建ててくださるものです。信仰と目的が異なる人々と、同じくびきを負うことはできないのです。

事実サマリヤ人たちは、次には妨害に回ってしまい、彼らの思いが神への本当の信仰ではなかったことが明かになりました。個人のミニストリーでも教会でも、見かけのために不信仰者の手助けに飛びつくことはせず、神に喜ばれる本当の信仰を守ることを考えましょう。それが完成への近道です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 火曜

エズラ



4:11 彼らが送ったその手紙の写しは次のとおりである。「川向こうの者、あなたのしもべたちから、アルタシャスタ王へ。さて、

4:12 王にお知らせいたします。あなたのところから、こちらに来たユダヤ人たちはエルサレムに行き、あの反抗的で危険な町を再建しています。その城壁を修復し、その礎もすでに据えられています。

4:13 今、王にお知らせいたします。もしこの町が再建され、城壁が修復されたら、彼らはずみつき、関税、税金を納めなくなるでしょう。そうすれば、王の収入に損害を与えることになりましょう。

4:14 さて、私たちは王宮の恩恵を受けておりますから、王のはずかしめを見るのに耐えられません。それゆえ、私たちは人を遣わして、王にお知らせするのです。

4:15 あなたの先祖の記録文書をお調べになれば、この町が反抗的な町で、王たちと諸州に損害を与え、また昔からこの町で反逆が行なわれたことを、その記録文書の中に見て、おわかりになるでしょう。この町が滅ぼされたのも、そのためです。

4:16 私たちは王にお知らせします。もしこの町が再建され、城壁が修復されたら、あなたはこのために川向こうの領土を失ってしまわれるでしょう。」

4:17 王は参事官レフム、書記官シムシャイ、およびサマリヤと川向こうのその他の地に住んでいる彼らの同僚に返事を送った。「平安があるように。さて、

4:18 あなたがたが、私たちに送ったあの書状は、私の前で説明して読まれた。

4:19 私は命令を下し、調べさせたところ、その町は昔から王たちに対して謀反を企て、その町で暴動と反逆が行なわれたことがわかった。

4:20 またエルサレムにはかつて勢力のある王たちがいて、川向こうの地を全部支配し、みつぎ、関税、税金が彼らに納められていたこともわかった。

4:21 今、あなたがたは命令を下して、その者たちの働くのをやめさせ、私が再び命令を下すまで、この町が再建されないようにせよ。

4:22 あなたがたは、よく注意してこのことを怠ってはならない。損害を増して王を傷つけるといけないから。」

4:23 アルタシャスタ王の書状の写しがレフムと、書記官シムシャイと、その同僚の前で読まれると、彼らは急いでエルサレムのユダヤ人のところに行って、武力をもって彼らの働きをやめさせた。

4:24 こうして、エルサレムにある神の宮の工事は中止され、ペルシヤの王大リヨスの治世の第二年まで中止された。

クロス王からアルタシャスタ王までは100年ほどありますから、王の方針は変わる可能性があります。サマリヤ人は信仰の問題を政治の問題やお金の問題に摩り替えて、イスラエル人を陥れたのでした。

このようにサタンは現代でも、信仰と世的なことをすり替えてきます。惑わされないようにしましょう。またそのような攻撃にも神の力で対処しましょう。決して、同じように政治力や経済力など、この世の知恵で対抗しないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 水曜

エズラ



5:1 さて、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤの、ふたりの預言者は、ユダとエルサレムにいるユダヤ人に、彼らとともにおられるイスラエルの神の名によって預言した。

5:2 そこで、シェアルティエルの子ゼルバベルと、エホツァダクの子ヨシュアは立ち上がり、エルサレムにある神の宮を建て始めた。神の預言者たちも彼らといっしょにいて、彼らを助けた。

5:3 そのとき、川向こうの総督タテナイと、シェタル・ボズナイと、その同僚とがやって来て、こう言った。「だれがあなたがたに命令を下して、この宮を建て、この城壁を修復させようとしたのか。」

5:4 そしてまた、「この建物を建てている者たちの名は何というのか。」と尋ねた。

5:5 しかし、ユダヤ人の長老たちの上には神の目が注がれていたので、このことがダリヨスに報告され、ついて、このことについての書状が来るまで、この者たちは彼らの働きをやめさせることができなかった。

5:6 川向こうの総督タテナイと、シェタル・ボズナイと、その同僚の川向こうにいる知事たちが、ダリヨス王に書き送った手紙の写しは次のとおりである。

5:7 すなわち、彼らが王に送った報告には次のように書かれてあった。「ダリヨス王に全き平安がありますように。

5:8 王にお知らせいたします。私たちはユダの州に行き、あの大いなる神の宮に行ってみました。それは大きな石で建てられており、壁には木材が組まれました。その工事は彼らの手で着々と進められ、順調にはかどっ

ています。

5:9 そこで、私たちはその長老たちに尋ねて、彼らに次のように言いました。『だれがあなたがたに命令を下して、この宮を建て、この城壁を修復させようとしたのか。』

5:10 私たちはまた、あなたにお知らせするために彼らにその名を尋ねました。それは、彼らのかしらになっている者の名を書きしるすためでした。

5:11 すると、彼らは次のように私たちに返事をよこして言いました。『私たちは天と地の神のしもべであり、ずっと昔から建てられていた宮を建て直しているのです。それはイスラエルの大王が建てて、完成させたものです。』

5:12 しかし、私たちの先祖が、天の神を怒らせたので、神は彼らをカルデヤ人であるバビロンの王ネブカデネザルの手に渡されました。そこで、彼はこの宮を破壊し、民を捕えてバビロンに移したのです。

5:13 しかし、バビロンの王クロスの第一年に、クロス王はこの神の宮を再建するよう命令を下しました。

5:14 クロス王はまた、ネブカデネザルがエルサレムの神殿から取って、バビロンの神殿に運んで来た神の宮の金、銀の器具を、バビロンの神殿から取り出し、自分が総督に任命したシェシュバツアルという名の者にそれを渡しました。

5:15 そして、シェシュバツアルに、これらの器具を携えて行って、エルサレムの神殿に納め、神の宮をもとの所に再建せよと言いました。

5:16 そこで、このシェシュバツアルは来て、エルサレムの神の宮の礎を据えました。そ

の時から今に至るまで、建て続けていますが、まだ完成していません。』

5:17 ですから今、王さま、もしもよろしければ、あのバビロンにある王の宝物倉を捜させて、エルサレムにあるこの神の宮を建てるためにクロス王からの命令が下されたかどうかをお調べください。そして、このことについての王のご意見を私たちにお伝えください。」

ダリヨスはアルタシャスタ以前の王でした。神殿再建への妨害は何度もあったようです。そしてその都度、神様は解決を与えて、工事を再開するようにしてくださったのです。

ここから分かることは、挫折は信仰の始まりだということです。今、立ち行かなくなっているなら、そこから折って、主のみこころを求めるところから始めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 木曜

エズラ

6:1 それで、ダリヨス王は命令を下し、宝物を納めてあるバビロンの文書保管所を調べさせたところ、

6:2 メディヤ州の城の中のアフメタで、一つの巻き物が発見された。その中に次のように書かれていた。

「記録。

6:3 クロス王の第一年に、クロス王は命令を下した。エルサレムにある神の宮、いけにえがささげられる宮を建て、その礎を定めよ。宮の高さは六十キュビト、その幅も六十キュビト。

6:4 大きな石の層は三段。木材の層は一段にする。その費用は王家から支払う。

6:5 また、ネブカデネザルがエルサレムの神殿から取って、バビロンに運んで来た神の宮の金、銀の器具は返し、エルサレムの神殿に運び、一つ一つもの所に戻す。こうして、それらを神の宮に納める。」

6:6 「それゆえ、今、川向こうの総督タテナイと、シェタル・ボズナイと、その同僚で川向こうにいる知事たちよ。そこから遠ざかれ。

6:7 この神の宮の工事をそのままやらせておけ。ユダヤ人の総督とユダヤ人の長老たちにこの神の宮をもとの所に建てさせよ。

6:8 私は、さらに、この神の宮を建てるために、あなたがたがこれらユダヤ人の長老たちにどうすべきか、命令を下す。王の収益としての川向こうの地のみつぎの中から、その費用をまちがいなくそれらの者たちに支払って、滞らぬようにせよ。

6:9 また、その必要とする物、すなわち、天



の神にささげる全焼のいけにえのための子牛、雄羊、子羊、また、小麦、塩、ぶどう酒、油を、エルサレムにいる祭司たちの求めに応じて、毎日怠りなく彼らに与えよ。

6:10 こうして彼らが天の神になだめのかおりをささげ、王と王子たちの長寿を祈るようにせよ。

6:11 私は命令を下す。だれであれ、この法令を犯す者があれば、その家から梁を引き抜き、その者をその上にはりつけにしなければならない。このことのため、その家はごみの山としなければならない。

6:12 エルサレムに御名を住まわせられた神は、この命令をあえて犯しエルサレムにあるこの神の宮を破壊しようとして手を出す王や民をみな、くつがえされますように。私ダリヨスは命令を下す。まちがいなくこれを守れ。」

神殿の再建にあたってサマリヤ人の妨害は何度かあったようです。しかしダリヨス王は先のクロス王の文書を発見して、イスラエルの工事を認めるどころか、それが全うできるような法令を定めて、王の立場で協力しました。（ちなみにダニエルが使えたダリヨス王は別の王と思われます。）

ダリヨス王はエジプトの脅威に対してパレスチナを懐柔する目的があったとの見方があります。いずれにしても神様が彼を用いて、そのような考えを与えて神殿再建を導いたのです。

主のみこころであるなら、あらゆる力が用いられることを期待してもよいのです。歴史もまたノンクリスチャンでさえも用いる主の全能を尊びましょう。ただし、そのような主のみわざは、私たちの勝手な目的のためではなく、主の救いの歴史を進めるためであり、主の目的であることを忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 金曜

エズラ



6:13 このように、ダリヨス王が書き送ったので、川向こうの総督タテナイと、シエタル・ボズナイと、その同僚たちとは、これをまちがいなく行なった。

6:14 ユダヤ人の長老たちは、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤの預言によって、これを建てて成功した。彼らはイスラエルの神の命令により、また、クロスと、ダリヨスと、ペルシヤの王アルタシャスタの命令によって、これを建て終えた。

6:15 こうして、この宮はダリヨス王の治世の第六年、アダル月の三日に完成した。

6:16 そこで、イスラエル人、すなわち、祭司、レビ人、その他、捕囚から帰って来た人々は、この神の宮の奉献式を喜んで祝った。

6:17 彼らはこの神の宮の奉献式のために、牛百頭、雄羊二百頭、子羊四百頭をささげた。また、イスラエルの部族の数にしたがって、イスラエル人全体の罪のためのいけにえとして、雄やぎ十二頭もささげた。

6:18 また彼らは、エルサレムでの神への奉仕のため、祭司をその区分にしたがって、レビ人をその組にしたがってそれぞれ任命した。モーセの書に記されているとおりである。

6:19 捕囚から帰って来た人々は、第一の月の十四日に過越のいけにえをささげた。

6:20 祭司とレビ人たちは、ひとり残らず身をきよめて、みなきよくなっていたので、彼らは捕囚から帰って来たすべての人々のため、また、彼らの兄弟の祭司たちのため、また、彼ら自身のために、過越のいけにえをほふった。

6:21 捕囚から戻って来たイスラエル人と、イ

スラエルの神、主を求めて、この国の異邦人の汚れから縁を絶って彼らに加わったすべての者たちとは、これを食べた。

6:22 そして、彼らは七日間、種を入れないパンの祭りを喜んで守った。これは、主が彼らを喜ばせ、また、アッシリヤの王の心を彼らに向かわせて、イスラエルの神である神の宮の工事にあたって、彼らを力づけるようにされたからである。

預言者に与えた神の回復の約束は、様々な困難があっても、その全能の御手によって完成しました。民の回復の預言は、民が神殿とともにあるという神の臨在によって実現するのです。

ですから、彼らはすぐに「過ぎ越しのいけにえ」をささげました。神のミニストリーはそれがイベントとして成功して終わりではありません。集会も建築もすべてそこから神の救いのわざや勝利の前進が始まるのです。

教会もクリスチャン個人も、主のわざが完成したことで満足して終わってしまわないように、本来の目的を考えましょう。何のためのミニストリーか、何のための建築か…。そこから始まる神様の大きい前進に希望を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 土曜

エズラ



7:1 これらの出来事の後、ペルシヤの王アルタシャスタの治世に、エズラという人がいた。このエズラはセラヤの子、順次さかのぼって、アザルヤの子、ヒルキヤの子、

7:2 シャルムの子、ツアドクの子、アヒトブの子、

7:3 アマルヤの子、アザルヤの子、メラヨテの子、

7:4 ゼラヘヤの子、ウジの子、ブキの子、

7:5 アビシュアの子、ピネハスの子、エルアザルの子、このエルアザルは祭司のかしらアロンの子である。

7:6 エズラはバビロンから上って来た者であるが、イスラエルの神、主が賜ったモーセの律法に通じている学者であった。彼の神、主の御手が彼の上にあったので、王は彼の願いをみなかなえた。

7:7 アルタシャスタ王の第七年にも、イスラエル人のある者たち、および、祭司、レビ人、歌うたい、門衛、宮に仕えるしもべたちのある者たちが、エルサレムに上って来た。

7:8 エズラは王の第七年の第五の月にエルサレムに着いた。

7:9 すなわち、彼は第一の月の一日にバビロンを出発して、第五の月の一日にエルサレムに着いた。彼の神の恵みの御手が確かに彼の上にあった。

7:10 エズラは、主の律法を調べ、これを実行し、イスラエルでおきてと定めを教えようとして、心を定めていたからである。

アルタシャスタ王は神殿の再建の後に王になったのですが、前章ではクロス王やダリヨス王と列挙されています。彼が霊的な神殿再建に協力したからで

す。すなわち神様はエズラを通して、「主の律法」を調べさせ、それを民が実行できるように導いたのです。

神殿の再建は建物という面でとても重要ですが、それだけではただのモノにし過ぎません。そこに主がおられること、すなわち主の栄光があることが重要です。もしも主のみこころである律法の書が忘れ去られていたら、そこには主の栄光はあり得ません。

私たちも、目に見える建物や組織や経済力または設備などに力を注ぎます。しかし何よりも大切なのは神の栄光であり、それは私たちが神のみこころ、すなわち新約時代である今は聖書のみことばに従っているかどうかにかかっているのです。

エズラのように、皆が主のみことばに従うようにと「心に定めて」いる人が必要です。そのような人になりましょう。また、そのような人に協力し同労者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





7:11 アルタシャスタ王が、祭司であり、学者であるエズラに与えた手紙の写しは次のとおりである。・エズラは、主の命令のことばと、イスラエルに関する主のおきてに精通した学者であった。・

7:12 「王の王アルタシャスタ。天の神の律法の学者である祭司エズラへ。この件は完了した。さて、

7:13 私は命令を下す。私の国にいるイスラエルの民、その祭司、レビ人のうち、だれでも自分から進んでエルサレムに上って行きたい者は、あなたといっしょに行つてよい。

7:14 なぜなら、あなたは、あなたの手にあるあなたの神の律法に従ってユダとエルサレムを調査するよう、王とその七人の議官によって遣わされており、

7:15 また、王とその議官たちが、エルサレムに住まれるイスラエルの神に進んでささげた銀と金、

7:16 バビロンのすべての州で、あなたが得るすべての銀と金、それに、エルサレムにある自分たちの神の宮のために、民と祭司たちが進んでささげたささげ物をも合わせて携えて行くために遣わされているからである。

7:17 それゆえ、あなたはその献金で、牛、雄羊、子羊、また、そのための穀物のささげ物と注ぎのぶどう酒を心して買い求め、エルサレムにあるあなたがたの神の宮の祭壇の上で、それをささげなければならない。

7:18 また、残りの銀と金の使い方については、あなたとあなたの兄弟たちがよいと思うことは何でも、あなたがたの神のみ心に従って行なうがよい。

7:19 また、あなたの神の宮での礼拝のために、あなたに与えられた器具は、エルサレムの神の前に供えよ。

7:20 その他、あなたの神の宮のために必要なもので、どうしても調達しなければならないものは、王の宝物倉からそれを調達してよい。

7:21 私、アルタシャスタ王は、川向こうの宝庫係全員に命令を下す。天の神の律法の学者である祭司エズラが、あなたがたに求めることは何でも、心してそれを行なえ。

7:22 すなわち、銀は百タラントまで、小麦は百コルまで、ぶどう酒は百バテまで、油も百バテまで、塩は制限なし。

7:23 天の神の宮のために、天の神によって命じられていることは何でも、熱心に行なえ。御怒りが王とその子たちの国に下るといけないから。

7:24 また、次のことを知らせる。祭司、レビ人、歌うたい、門衛、宮に仕えるしもべたち、つまり、この神の宮に仕える者にはだれにも、みつぎ、関税、税金を課してはならない。

7:25 エズラよ。あなたは、あなたの手にあるあなたの神の知恵にしたがってさばきつかさや裁判官を任命し、川向こうにいるすべての民、すなわち、あなたの神の律法を知っているすべての者をさばかせよ。また、これを知らない者に、あなたがたは教えよ。

7:26 あなたの神の律法と、王の律法を守らない者には、だれにでも、死刑でも、追放でも、財産の没収でも、または投獄でも、その判決を厳格に執行せよ。」

7:27 私たちの父祖の神、主はほむべきかな。主はエルサレムにある主の宮に栄光を

与えるために、このようなことを王の心に起こさせ、

7:28 王と、その議官と、すべての王の有力な首長の好意を私に得させてくださった。私の神、主の御手が私の上にあったので、私は奮い立って、私といっしょに上るイスラエル人のかしらたちを集めることができた。

エズラの決心に対して、主が王を動かしてまで答えてくださいました。それも実に実際的な命令による後押しです。

信仰による決心を明確にしましょう。世の人に対しても誠実でありましょう。みことばを調べ、それに従いましょう。主の助けを求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

